

# 冬の健康と泌乳増進の飼料

## 根菜類と品種

### 一 手間はかかるがやめられない

#### 根菜類の作付

多汁質生鮮飼料の根菜類は、可溶性糖分に富み、各種ビタミン類を豊富に含み、また乾燥飼料の消化を助長する等よくサイレージや乾牧草の欠陥を補ってくれる「冬の健康と泌乳増進の飼料」です。たとえ労力がかかっても冬の貯蔵飼料期間の長い寒冷地では絶対やめられない飼料です。

一冬一頭分の根菜は五〇六、〇〇〇キ準備出来れば楽な乳牛飼育ができればしょう。

### 二 家畜ビートの省力多収栽培上考えたい事

#### (1) 間引、除草作業労力の配分をよくする紙筒移植

直播に先立つこと一ヵ月、冷床で紙筒を利用して育苗移植を行ないますと、多忙な五月下旬から六月上旬にかけての間引きや、除草の手間が省け、欠株もなく、ビートも大きく五〜六割の増収が期待出来ます。(ビート専用の育苗紙筒は一六頁参照)

#### (2) 栄養収量の高い品種を作る

肥えた土地を選んで、MG Mやシュガーマンゴールドを作りますと、乾物、糖分、栄養価の高いものが得られ、見かけだけの収量の多いパールレス等に較べて遙かに有利です。多汁質飼料とはいえ、水分の生産ではなしに栄養生産の有利な品種を作ることが大切です。

#### (3) 耐病性品種の利用

病害防除の手間は莫大ですから褐斑病に強いMG Mは他の品種に較べて一〜二回薬剤散布は少なく済みます。

す。その上蛋白含量の高い葉が多量に生産されます。

#### (4) 欠株補植には活着のよいルタバガを

播種後一ヵ月位のルタバガ苗を家畜ビートの欠株に補植しますと活着もよく、根の太りも早く、白腐病の発生も少なく根菜の増収に大いに役立ちます。

家畜ビート一〇畦に一畦位の割合にルタバガを播種、間引き苗で欠株補植をしましょう。

### 三 根菜類の増産には

○排水の良い肥沃な土地に消毒済みの種子をまく。

○速効性肥料の他に永持ちのする堆肥や熔りん、石灰窒素も併用する。特に堆肥は充分に。

○播種は早目に、間引きも本葉二〜三枚の早い時期に。欠株には必ず補植を。

○病害虫の防除は早期に。中耕除草は二〜三回行い雑草を抑え、土壌を膨軟に。

#### 家畜ビートの品種

○肥沃地で収量があり貯蔵力の強いMG M(桃色)は乾物率が高く、糖分含量も多く、シュガーマンゴールドよりも根部で三〇%以上も多い栄養生産量となり、更に褐斑病に強く葉も健全ですから収量の多い優れた品種です。糖分含量の多いことはケトージスの対策にもなります。

○普通地によくできるシュガーマンゴールド(青首)は作り易く各地で多収を挙げ古くから広く活用されている品種です。

○瘠地、泥炭地等の不良土壌でビートを取りたい時にはハーフエロー、パールレス(いずれも橙色)が最適、ただし貯蔵力は劣ります。

○その他、貯蔵力が大で肥えた土地で病害防除のよく行き届いた時に多収のハーフレッド(赤色)耐病性で稍早生のBGB(橙色)もあります。

#### 家畜ビート品種と貯蔵性

せっかく苦勞して収かくした家畜ビートを貯蔵中に一〜二割も腐らせてしまうことがあります。貯蔵方法も勿論注意しなければなりません。品種によっても貯蔵性が大きく異なります。貯蔵力の強さの順位は次の通りです。

- ①MG M ②ハーフレッド ③シュガーマンゴールド
- ④BGB ⑤ハーフエロー ⑥パールレストリーネ

#### ルタバガの品種

○大型で多収、根瘤病、白腐病に強いのが、グリーントップ(青首、道産と輸入種)

○小型で白腐病に頗る強く、移植してもヒゲ根の少ない円滑で根に泥の附着の少ないのがパーブルトップ(紫首、輸入種) スムーズラウンド(紫首、道産種)。

大型品種は六、〇〇〇株、小型品種は七〜八、〇〇〇株が多収の栽植株数です。

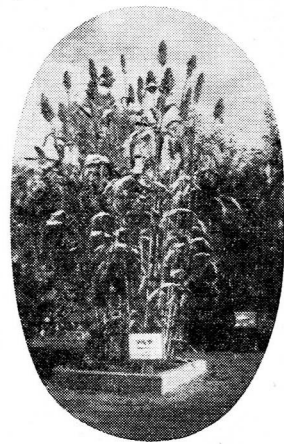
#### 夏作の跡地に

#### かぶのバラまき栽培

夏に耕起した肥沃な畑に肥料を普通の五割増にして整地をよくしそれに種子を一〇坪当約八〇坪をまぜて全面に肥料と一緒にまいてローラーで鎮圧覆土して置きますと、間引中耕の省力ができ病害防除程度の手間で多量のかぶが得られます。畑があいたら早い程よく、種子は春の内に準備をしておきましょう。

# と作りた青刈類と品種

## と作りた青刈類と品種



牧草地を持つことです。

### 二 普通牧草地は夏枯れ防止の管理を

秋―冬―春―初春と旺盛な生育を長期に亘って続ける普通(北方型)牧草のオーチャード、クロバー、ライグラス類はなんといっても飼料作りの骨幹作物ですから、これらができるだけ夏枯れから守って更に長期間に利用するように肥培管理、刈取り利用に留意しましょう。  
特に管理上注意したい事は次の通りです。

○乾燥、早刈をさけるための灌水や庇蔭(樹木の植込み)を行なうこと。

○肥料欠乏を防ぐための十分な元肥(特に堆厩肥)と適正な追肥。

○病害虫や雑草害から牧草を守ってやること。

○暑熱期の刈取りは加減し、特に低刈りしないこと。

これだけの心掛けでもきつと例年よりも夏枯れが少なく、普通牧草も利用期間が延長されます。

### ◎暑熱時でも青々とした牧草を得る混播例

(低温で発芽しないから春～晩春まき)

採草地	オーチャード	一〇	放繫牧地	パーミューダグラス	一〇
	パヒヤグラス	二〇		パヒヤグラス	一〇
	トルオート	一〇		パーズフット	一〇
	ルーサン	一〇		トレフォイル(早春播)	一〇
				白クロバー	〇・三

(早春にまく)

### ◎普通(北方型)牧草で暑さに強い品種

- オーチャード(雪印改良種)
- 赤クロバー(ケンランド、ベネスコット)
- ルーサン(デュービー、ウイリアムズブルグ、アトランチック)
- 白クロバー(ニュージールランドホワイト)

### 三 高温性の青刈作物で応急対策を

―春まいて早速夏に間に合う耐暑性青刈―

スーダングラス、ソルゴー、テオシント、デントコーンそれにまめ科ではカウピー、大葉つる豆更に葉菜飼料のタンペラ等があります。デントコーンは一度刈利用ですが、他は二〜三回から、上手にやりますと四〜五回の刈取りができ、草量も一夏に一〇〜二〇トと多量に得られます。

◎スーダングラス 四月下旬〜六月下旬の間に六〇〜七〇センチの畦幅に三〇センチ前後を、播種二ヵ月後には第一回の刈取りができ、その後秋まで一月ごとぐらゐに刈取りできます。肥料はデントコーンの二〜三割増程度、刈取ごとに窒素肥料を追肥のこと。

◎ソルゴー 播種期、畦幅、肥料その他はスーダングラスと同様、播種量は三〇〜四〇センチ刈取ごとに、窒素、燐酸の追肥。

◎テオシント 前記二作物に準じ播種量一五〜二〇センチ晩霜回避、早刈り、増収のため移植栽培も行なわれます。

◎カウピー 単播の場合もありますが、主としてデントコーン、スーダングラス、ソルゴーに混播、播種量五〇〜六〇前後。

◎大葉つるまめ 暖地で旺盛に繁茂する大葉つるまめは霜の心配がなくなったら二〜三センチの種子を五〇センチ前後の畦に条播。

### ◎青刈作物の優良品種

スーダングラス

ソルゴー

スイート・ソルゴー

得られ家畜も好食します。

## 暖地県府

一 高乳価期の夏の飼料を充分に  
例年夏の牛乳は高価です。それは消費の増大、生産低下に起因しますが、高乳価の時になぜ生産が低下するか。暑さによる牛の弱りもありますが、それに拍車をかけるのが牧草の夏枯れによる飼料不足です。  
今年こそ夏の飼料対策を完べきにして高乳価時に高生産をしましょう。

### 二 夏枯れ対策の第一は耐暑性牧草作りで

普通の牧草は気温一五度〜二〇度(摂氏)で最もよく生育しますから暑熱の候には当然夏枯れ状態を呈します。しかし二五度以上の暑さが必要とする牧草もあります。いわゆる耐暑性の牧草で、普通牧草の夏枯れするような高温の時が生育の旺盛な牧草です。

いね科牧草では、パヒヤグラス、パーミューダグラス、ウイピングラブグラス、まめ科牧草では、パーズフット・トレフォイル、ルーサン等がこれです。夏枯れ対策の第一はまずこれらの牧草の混播で真夏でも青々とした

# 水田での

## 飼料作り

### 水田前作による

#### サンマーサイレージの作り方

暖地では夏枯れ対策を充分にして真夏の頃に青草の不足のないよう飼料準備を行いますが、更に不足時に備えてサンマーサイレージの用意も必要です。

夏のサイレージは裏作物を利用して作るのが普通ですが、作業の関係で裏作が充分でできなかったり、冬枯れ等で減取の場合もありますが、早春まで、田植前にも充分飼料が得られますから是非水田前作をしましょう。

前作にはどんな作物がよいか

④ 田植まで二〜三カ月の期間をみられる場合（霜の心配のない作物）の作物と播種量

青刈えん麦	七 <small>キロ</small>
イタリアンライグラス	一・五 <small>キロ</small>
ベツチ	二〜三 <small>キロ</small>
紫丸かぶ	〇・三 <small>キロ</small>
豊産C・O（レープ）	〇・五 <small>キロ</small>
青刈ひまわり	二・〇 <small>キロ</small>

（根部は生食、葉でサイレージ）

③ 田植まで三〜四カ月（晩期稲）の期間をみられる場合（霜の心配のない作物）

家畜ビート	一・〇〜一・五 <small>キロ</small>
又はルタバガ	〇・三 <small>キロ</small>
イレージ	〇・三 <small>キロ</small>

（根部は生食、葉でサイレージ）

② 田植まで三〜四カ月の期間をみられる場合（霜には弱

い作物）

デントコーン	六〜八 <small>キロ</small>
青刈大豆	四〜五 <small>キロ</small>
カウピー	二〜三 <small>キロ</small>

#### 田畑輪換の牧草作りは春まで

輪換畑は春までよい牧草が出来る

暖地の牧草播種は秋まきが常識となっておりますが、輪換畑の場合は水田を畑地にしたものだけに、春でも雑草は少なく、更に早魃でも灌溉ができ播種後二カ月もしますと収穫できるように旺盛な生育が期待できます。

#### 輪換畑への牧草播種の注意

- 1 石灰を充分（炭カルで一〇リ当たり二〜三〇〇キロ）施して酸性を矯正すること。
- 2 砕土、整地をよくすること。
- 3 排水を良好にし、滲透水のないようにすること。
- 4 暑熱期または冬期には灌溉のできるようにしておくこと。

#### 輪換畑にはどんな牧草が適するか

赤クローバー	一・〇 <small>キロ</small>
ラデノクローバー	〇・二 <small>キロ</small>
アルサイククローバー	〇・五 <small>キロ</small>
オーチャード	一・〇 <small>キロ</small>
メドウフェスクまたはベレニアルライ	〇・五 <small>キロ</small>

の混播が普通に行なわれますが、更に初期の刈取りを早め多収を得るためにはこれにパーシム一・〇キロと、イタリアンライグラス〇・五キロを加えることも有利です。

#### マンモスイタリアンライグラス、マンモスペレニアルラ

イグラスなどの多収品種は、田畑輪換畑のごとき、土壌条件の良いところで、ほんとうに能力を発揮して素晴らしい収量をうるることができます。

### 暖地の盛夏の多汁質飼料

#### 春まき家畜ビートの多収な作り方

家畜ビートは糖分、ビタミン含量が多く家畜が非常に好んで食べる根菜です。

元来は寒冷地でよく生育し、収量多く冬期貯蔵飼料とされてきましたが、最近暖地へも進出し、カブよりも五割以上も増収し、真夏の多汁飼料として好評を得ております。

#### 家畜ビート春まき多収のコツは

- 1 できるだけ早まきすること。（霜にも強い）
- 2 石灰を施し、酸性土壌を中和すること。
- 3 完熟堆肥を一〇リ当たり二、〇〇〇キロ以上入れて、深耕すること。
- 4 種子消毒で立枯病や根グサレを防ぐこと。（弊社種子はすべて消毒済です）
- 5 薬剤（砒素剤加用のクブラビット等）を二回以上散布すること。（褐斑病と夜盗虫の防除）
- 6 品種は早太りのパールレス、シユガーマンゴールド、ハーフシユガーエロー。耐病性のMGM。
- 7 関東地方における作季を示せば次の通り（播種量一・〇キロ）

三月 四月 五月 六月 七月 八月  
播種 間引 中耕 薬剤散布 薬剤散布 収穫 利用



水田の飼料栽培